

J Aバンク自己改革への取り組み

【J Aバンク自己改革】

- ① 農業所得増大と地域活性化に資する踏み込んだ対応
- ② J Aが営農経済事業に全力投球できる環境整備
- ③ 農業と地域・利用者をつなぐ金融サービスの提供・地域貢献

◎ J Aバンクえひめ農業応援県域サポートの実践

農業融資の幅広い対応による金融仲介機能の発揮、農業振興および農業・地域の成長に資する県内J Aの取り組みの認知度向上を目指すため、令和6年度についても農業融資伸長のための助成措置や効果的なPRの展開、県内農畜産物の販路拡大のための情報提供、マスコミなどを活用した農業・地域の情報発信の取り組みに向けた「J Aバンクえひめ農業応援県域サポート」を策定し、農業者、地域を応援いたしました。

◎ J Aグループ愛媛担い手サポートセンター連絡協議会の設置

当会を含めた連合会・中央会が連携して、えひめ農業に対する県域応援態勢を一層強化するために、「J Aグループ愛媛担い手サポートセンター連絡協議会」を平成28年4月に設置し、県内J Aにおける担い手の育成、生産振興に向けた労働力確保、J A営農指導員の育成などの取り組みを支援しております。

令和6年度についても、県内J Aや関係機関と連携し、就農相談会の開催や出展、(株)農協観光や人材派遣会社等と連携した労働力確保支援などに積極的に取り組みました。



◎ 地域密着型金融への取り組み

新たな食料・農業・農村基本計画の策定を受け、J Aグループをあげて農業の担い手支援に取り組んでいくなか、J Aバンクえひめとしても、県内J A・当会・農林中金が一体となり、「担い手のメインバンク」としての機能発揮を目指し、担い手金融の強化に積極的に取り組んでおります。

それぞれの役割分担としては、県内J Aは、認定農業者（農家）や集落営農組織・J A出資型農業法人などの担い手を中心に金融対応を行っております。また、当会・農林中金は、J Aの取り組みを支援するとともに、J Aの対応が困難な農業法人などの担い手に対し、直接融資またはJ Aとの協調融資などにより幅広く柔軟な金融対応に努めております。



● 地域農業の発展への取り組み

○ J A 農業おまかせ資金の活用

J A 農業おまかせ資金は、「組合員の方に分かりやすく、活用しやすい」をコンセプトに、平成28年6月から県内J Aおよび当会で取り扱いを開始し、令和6年度についても、農業者などの資金ニーズに適切かつ迅速に応えられるよう積極的に取り組みました。



○ 農業の夢・ヒアリング訪問の実施

J Aバンクえひめでは、J Aが重要訪問先と位置付けている「農業メイン強化先」を中心とした農業者等に信用部門と営農部門が連携して訪問し、農業に対する「夢」・「希望」・「将来のプラン」を対話しながら聞き取りする「農業の夢・ヒアリング訪問」を平成28年度から継続して実施しております。

令和6年度についても、前年度の訪問で得た資金ニーズを確実に対応するためのフォローアップ運動を4月1日～6月28日までの期間実施するとともに、7月16日～10月31日の期間には「令和6年度農業の夢・ヒアリング訪問」を実施し、農業者等への金融面・非金融面におけるサポートに取り組みました。



○ テレビ「元気！えひめ農業」放送による情報発信

J Aバンクえひめでは、平成28年度より南海放送のテレビ番組「元気！えひめ農業」を制作し、県内各地の農畜産物の魅力発信や次世代のえひめ農業を担う生産者の紹介など農業応援にかかる積極的な情報発信に取り組んでおります。

令和6年度までは年6回（奇数月の日曜日16時）放送していましたが、令和7年度からは番組の認知度向上、幅広い年齢層に視聴してもらうことを目指し、放送回数を年12回（毎月第2土曜日11時15分）に放送することとしております。

番組名『J AバンクえひめPresents「元気！えひめ農業～えひめ農業の未来を応援～」』



●担い手農業者の経営のライフステージに応じた支援

○ 各種農業資金、制度資金の提供

J A と連携・協調し、J A 農業おまかせ資金、農業近代化資金、新スーパー S 資金、日本政策金融公庫（農林水産事業）資金などの各種農業資金、制度資金などを貸出しております。

【主な制度資金など】

名 称	資 金 の 概 要
農業制度資金（愛媛県関係資金）	
農 業 近 代 化 資 金	農業の「担い手」の経営改善のため、低利で提供される長期の制度資金であります。施設の取得・拡張、設備・農機具購入、長期運転資金など幅広い資金調達をサポートしております。
農業経営改善促進資金（新スーパー S 資金）	「認定農業者」の農業経営に必要な運転資金のため、低利で提供される短期の制度資金であります。設定した借入枠の範囲内で何度でも借入れと返済ができ、効率的にご利用できます。
農業制度資金（日本政策金融公庫資金）	
農業経営基盤強化資金（スーパー L 資金）	「認定農業者」の経営改善のための長期資金であります。返済期間が15年を超える、資金規模が大きい、農地取得を含むなどの場合にご利用できます。
経営体育成強化資金	農業の「担い手」の経営改善のための長期資金であります。返済期間が15年を超える、資金規模が大きい、農地取得を含むなどの場合にご利用できます。
農 業 改 良 資 金	農業の「担い手」の新作物分野・新技術へのチャレンジ、新たな加工・流通部門への進出など、高リスク農業への取り組み支援のため、無利子で提供される長期資金であります。
農林漁業セーフティネット資金	災害や経営環境の変化などにより経営状況が悪化した農林漁業者に対し、経営の維持安定に必要な資金を融通する資金であります。
青 年 等 就 農 資 金	認定新規就農者が青年等就農計画の達成に必要な経費のために、無利子で提供される長期の制度資金であります。
J A 独自資金	
J A 農業おまかせ資金	施設の取得・拡張、設備・農機具購入から長期の運転資金まで、農業に関するあらゆる資金ニーズに低利かつ迅速に融通する J A バンクえひめ独自の資金であります。
アグリマイティー資金	施設の取得・拡張、設備・農機具購入から短期の運転資金まで、農業に関するあらゆる資金ニーズに対応できる J A バンク独自の資金であります。
アグリスーパー資金	水田・畑作経営所得安定対策にかかる対象者の方のための農業経営に必要な運転資金ニーズに対応できる J A バンク独自の資金であります。
J A 農機ハウスローン	組合員の営農に必要な長期資金にご利用でき、迅速な対応が可能な J A バンク独自の資金であります。
営 農 ロ ー ン	組合員の営農に必要な営農資金にご利用でき、迅速な対応が可能な J A バンク独自の資金であります。設定した借入枠の範囲内で何度でも借入れと返済ができ、効率的にご利用できます。
当会独自資金	
信連アグリサポート資金	農業者（個人・法人）が行う農業生産および農産物の加工・流通・販売などに関する運転資金・設備資金を低利かつ迅速に融通する当会独自の資金であります。

（注）上記商品の詳細は、お近くの J A 窓口にお問合せください。

○ J Aバンクえひめ原油・原材料等価格高騰対策資金の取り扱い

ウクライナ情勢の悪化に伴う原油・原材料などの価格高騰の影響を受けた農業者に対して、必要な資金を円滑に対応することにより資金繰りや農業経営の安定化を支援することを目的に、令和4年10月から「J Aバンクえひめ原油・原材料等価格高騰対策資金」の取り扱いを開始し、農業者からの経営相談などに適切に対応しております。

令和7年度についても、生産資材価格の高止まりが続くなか取り扱いを継続することとしております。

○ J Aバンクえひめ農業災害支援資金の取り扱い

近年の気候変動により当県においても自然災害が多発している状況を踏まえ、農業災害全般に対応できる資金として令和6年5月から「J Aバンクえひめ農業災害支援資金」の取り扱いを開始し、自然災害による施設復旧や経営の再建維持などが必要な農業者からの経営相談に適切に対応しております。

○ J Aバンクえひめ園地復旧支援資金の取り扱い

平成30年7月西日本豪雨の被災園地の再建に取り組む担い手農業者の資金ニーズに円滑に対応することにより、将来の不安解消を後押しするとともに、農業経営の安定化に寄与することを目的に、平成31年4月から「J Aバンクえひめ園地復旧支援資金」の取り扱いを開始し、災害復興支援に取り組んでおります。

○ J Aバンクえひめ農地整備事業サポート資金の取り扱い

担い手農業者への農地集積や新規就農者への農地の確保、更には高収益作物の生産および高品質化に向けて行政機関が取り組む農地整備事業に参入する担い手農業者の資金ニーズに円滑に対応し、農業経営の安定化、就農定着に寄与することを目的に、令和3年11月から「J Aバンクえひめ農地整備事業サポート資金」の取り扱いを開始し、行政と一体となって愛媛農業の振興に取り組んでおります。

○ 農業融資にかかる利子助成等支援

担い手農業者等の経営支援を目的として、農業融資にかかるJ Aバンク利子補給（全国）、J Aバンクえひめ利子補給、J Aバンクえひめ保証料助成などを実施しております。

